

安曇野市地域公共交通総合連携計画

平成20年3月

安曇野市

目次

序章 はじめに.....	1
第1節 背景と目的.....	1
第2節 目標年次.....	1
第1章 安曇野市の公共交通の状況と課題.....	2
第1節 安曇野市の概況.....	2
第2節 安曇野市の公共交通の状況.....	9
第3節 平成18年度【安曇野地域公共交通システム構築調査】.....	20
第4節 平成19年度【安曇野地域公共交通システム構築調査】.....	35
第2章 安曇野市の上位・関連計画の概要.....	52
第1節 上位・関連計画の概要.....	52
第2節 本計画の位置付け.....	55
第3章 安曇野市地域公共交通総合連携計画.....	57
第1節 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針.....	57
第2節 地域公共交通総合連携計画の区域.....	60
第3節 地域公共交通総合連携計画の目標.....	60
第4節 目標を設定するために行う事業及びその実施主体に関する事項.....	63
第5節 計画期間.....	70
第6節 安曇野市総合連携計画の実施に関し必要と認める事項.....	70
参考資料	
安曇野市地域公共交通総合連携計画策定のための検討経過.....	75

序章 はじめに

第1節 背景と目的

安曇野市は、平成17年10月1日に安曇野地域の5町村（豊科町、穂高町、三郷村、堀金村、明科町）が合併して誕生しました。

この地域の公共交通のうち民間のバス路線は既にほとんどが廃止になっており、それぞれで、地域振興バスや路線バス、循環バス、乗合タクシー、福祉バス、観光周遊バスの運行や、高齢者等の外出支援のための、タクシー初乗り料金補助などが行われていましたが、これらは合併前の旧町村単位に構築されたもので、新市域としての各地域間の連携がとれていなかったり、利用者も低迷していました。

一方、この地域は、自然景観・文化施設・山岳・温泉等の豊富な観光資源を有しているものの、観光客が利用する公共交通機関が少なく、利用しにくい状況にありました。

そこで国土交通省と共催により、平成18年7月から2年間の予定で「長野県安曇野地域における公共交通システム構築のための検討会」を設置し、長野県、交通利用者、交通事業者等の関係者の皆様に参加いただきまして、地元住民への意向調査等を行い、結果を整理・分析し、新交通システムの運行方式についての検討を進め、平成19年9月10日から市内全域での乗合タクシーを中心とした試行運行を開始しました。この運行は、人口10万人レベルの市全域を運行するものとしては全国初の試みであり、14台の車両を使っでの運行も全国最大規模です。

ここにこれまでの検討内容を整理し、今後の乗合タクシーを中心とした実証運行や、地域の観光資源を生かすための公共交通の検討及び安曇野市外への公共交通手段のあり方等を、安曇野市地域公共交通総合連携計画としてまとめ、今後の公共交通の活性化を推進します。

第2節 目標年次

安曇野市地域公共交通総合連携計画は、平成29年度を目標年度とし、平成20年度から平成29年度までの10年間の計画期間とします。